



ありがとうございました！



大会運営

本大会は480人の競技役員、補助員、実施本部員、協力員で運営されました。会場では、運営補助員として志佐中学校、松浦高校の生徒たちが活躍してくれました。一般のボランティアの皆さんも会場や会場周辺の清掃などで大会を支えてくれました。



インタビュー



弁当調達係員・美化係員
松浦市地域婦人会連絡協議会
会長 榎元あや子さん

今回、地域婦人会連絡協議会の会員がたくさん参加し、大会へ協力することができたことを大変喜んでます。年を取るとこのような大きな大会に参加することが少なくなりますが、国体にスタッフとして参加できて本当に良かったですと思います。



放送委員
松浦市スポーツ推進委員
西田真喜さん(左)・井手ケイ子さん(中央)・今西昭子さん(右)

INTERVIEW

なぎなたについて一から勉強し、この国体に臨みました。試合中は、集中し間違いがないよう何度も確認しあい、3人のチームワークで無事に終わることができました。全国からのお客様に喜んでいただけたなら嬉しいです。スタッフとして参加し、貴重な経験をすることができました。



競技を支えてくれた皆さん



- ① 式典運営補助員 (志佐中3年生の皆さん)
- ② 採点掲示補助員 (松浦高校の皆さん)
- ③ 交通整理係員
- ④ 時計委員
- ⑤ 放送委員
- ⑥ 総務委員
- ⑦ 選手委員
- ⑧ 採点掲示委員
- ⑨ 競技会補助員
- ⑩ 第1・第2試合会場係員



インタビュー



総務副委員長
金子由美子さん

50年に1度の大会を松浦市でなぎなた競技を無事に進行できて安心しました。選手たちは国体に向けて何年もかけて練習してきました。今までの努力が素晴らしい結果につながりました。ここからが新たなスタートです。競技力を衰退させず、向上させるよう県なぎなた連盟としても頑張っていきます。



標示委員
萩原勇和さん(左)
記録委員
萩原和江さん(右)

INTERVIEW

スタッフとして国体に参加し、娘(萩原有未選手)の試合を目の前で見る事ができました。選手たちは、市民皆さんの応援に支えられ、ここまでこれました。本人たちも応援に応えたいという強い思いがありました。今はお疲れさまでしたと伝えたいです。